

令和3年3月1日
新潟県立がんセンター新潟病院

新型コロナウイルス感染症が心配で、検診を控えている皆様へ

新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、感染が怖い、心配という理由で病院や検診に行くことをためらっていらっしゃる患者さんが多くいらっしゃいます。

新潟県の調査によりますと、令和2年度の市町村がん検診及び特定検診の受診者数が、前年度に比べ2割程度減少することが見込まれています。県内市町村のがん検診では、毎年約1,500人のがんが見つかっています。2割の方が受診を控えた場合、約300人のがんの発見が遅れる場合があります。2人に1人はがんになると言われていますが、早期のがんは自覚症状がないことがほとんどです。このため、検診を控えることで、がんの発見が遅れるなど重症化のリスクが高まります。

がんを治すには早期発見、早期治療が重要です。がん予防総合センターでは、要精密検査とされたがんの二次検診（精密検査）を行っています。あなた自身のために是非がん検診を受診しましょう。

尚、当院では、患者さん（受診者さん）やご家族のご協力を得ながら、感染症に対する予防策を講じていますので、安心して受診をしてください。

